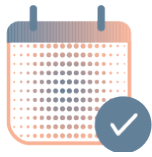


なかなか着床しない・不妊症に悩まれる患者様へ

不妊症と着床の窓の関係



ERA[®]

子宮内膜着床能検査

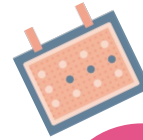
子宮内膜には胚の着床に最適な時期（着床の窓）があります。着床の準備が整っていないときに胚移植をすると、たとえ健康な胚でも着床不全になってしまうことがあります。



ERA検査はどんな検査？

着床の窓には個人差があり、人により時期が早く、遅く、長く、短く、などの違いがあります。ERA検査を受けることで、あなたの着床の窓を調べることができます。

ERA検査を受けた女性の約50%が、着床の窓に合わせて移植時間を調整しています。



大切な胚のために



ERA検査のメリット

- 個人の着床の窓を特定、最適な移植のタイミングがわかります
- 胚移植での妊娠率が約25%向上*します
- 最新の技術で遺伝子の発現パターンを解析します

* 2016 ASRM Distinguished Researcher Award

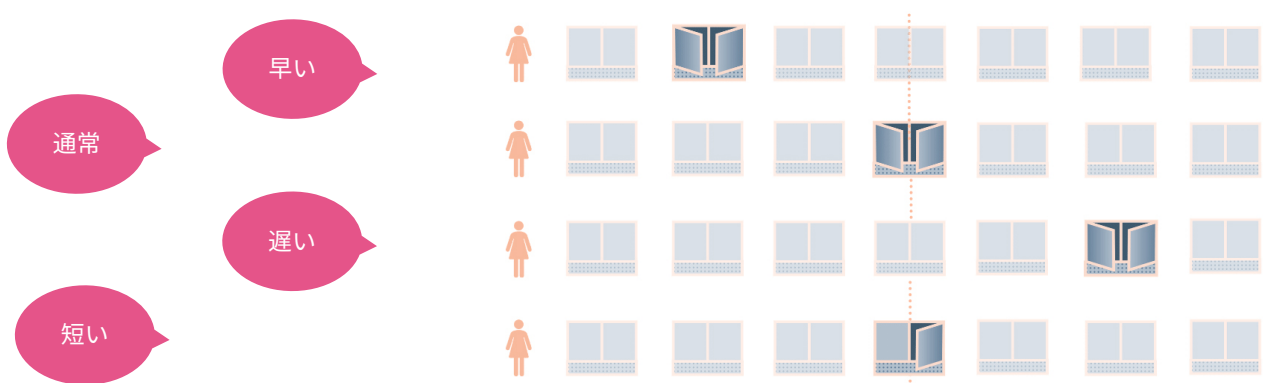
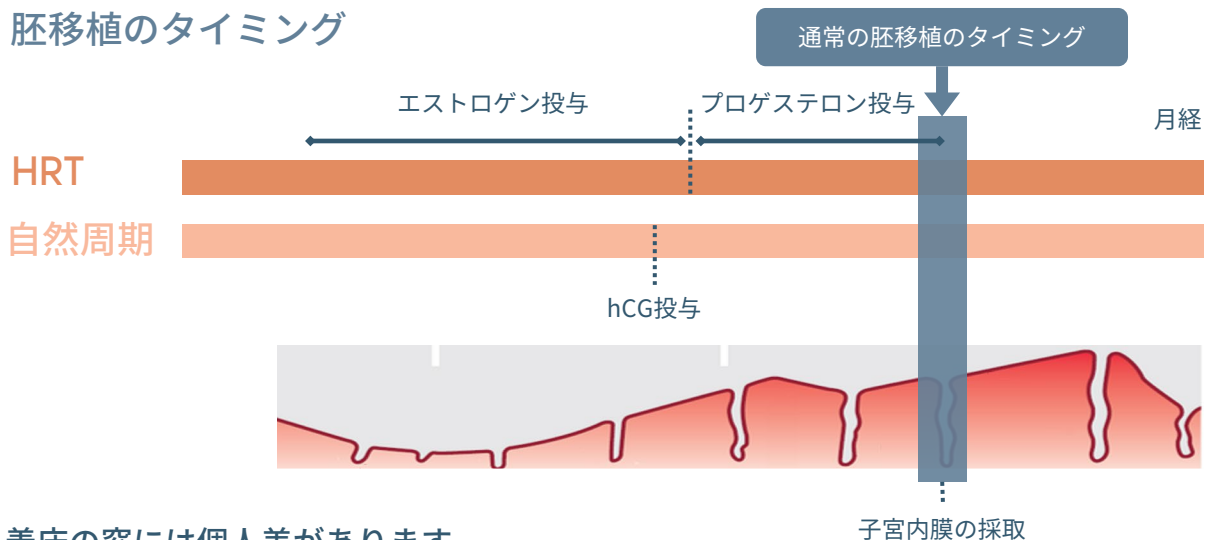


ERA検査の方法は？

通常の移植のタイミングで子宮内膜を採取します。遺伝子の発現パターンから、あなたの子宮内膜の状態がどの時期にあるかを特定します。



胚移植のタイミング





ERA検査の結果

生検時の子宮内膜の状態が最適だったのか、ずれていたのかがわかります。着床の窓が一般的な女性と同一としても、ERA検査により、胚の移植時間をさらに特定します。検査結果で推奨された時期に従い、移植の時間をずらすか、黄体ホルモンの開始日をずらすことで、最適な時期での胚移植を行います。

基本的な結果6パターンと移植スケジュール

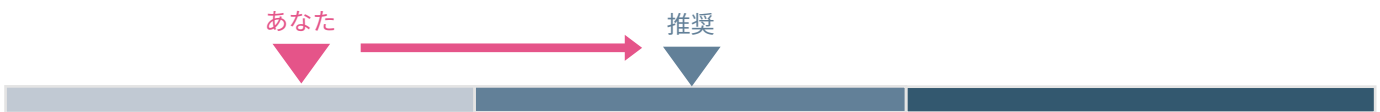
※ 下記以外の移植スケジュールを行う場合もございますので、詳細は担当医にご相談ください。



① Pre-Receptive 2 days . . . 再検査推奨



② Pre-Receptive 1 day . . . 24時間後移植推奨



③ Early-Receptive . . . 12時間後移植推奨



④ Receptive



⑤ Late Receptive . . . 12時間前移植推奨



⑥ Post-Receptive . . . 再検査推奨

